

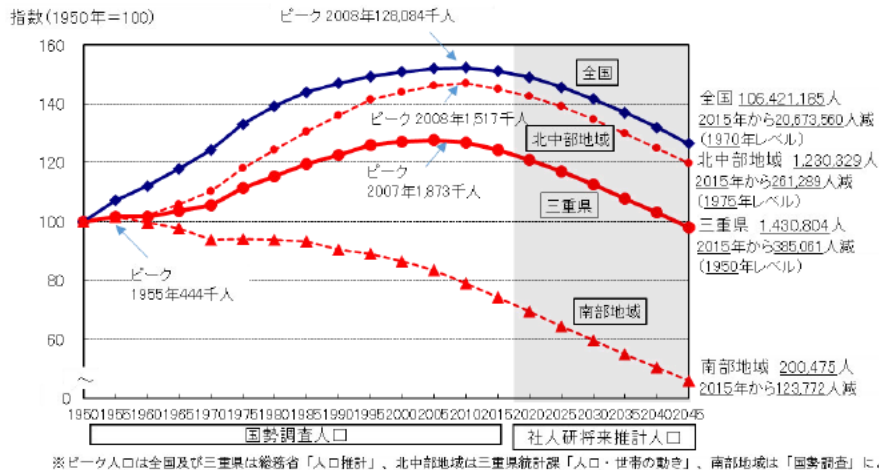
1 人口動態に関する参考データ

2 出生率、子どもに関する参考データ

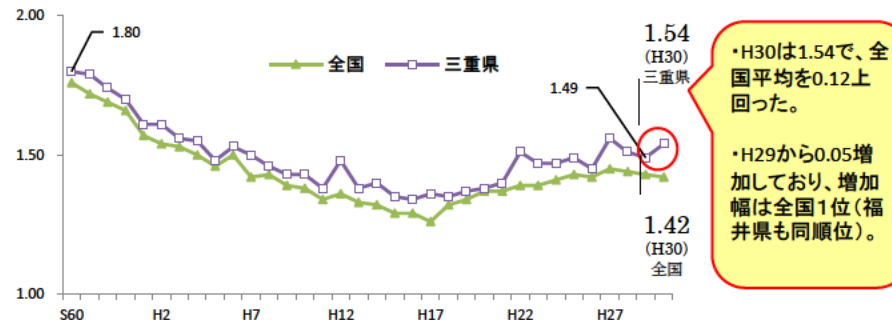
資料1-4

①総人口の推移と将来推計

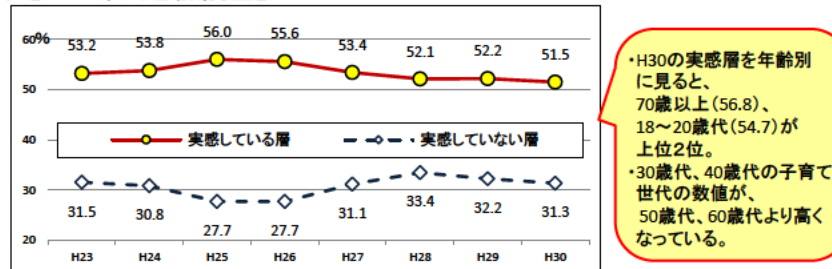
三重県及び全国の5年ごとの人口及び将来推計人口の推移



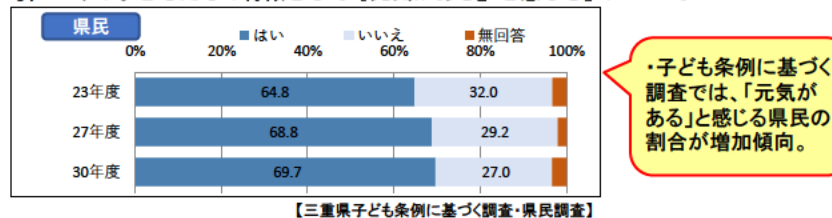
①合計特殊出生率の推移【人口動態統計等により県が作成】



②地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合【みえ県民意識調査】

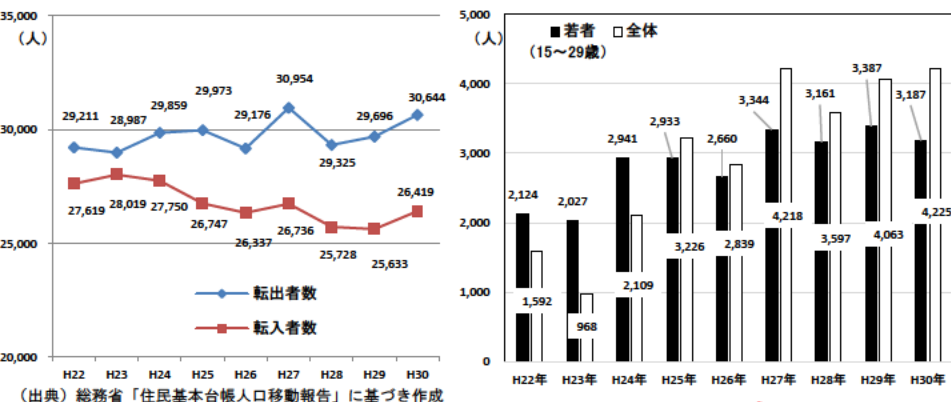


(参考)「今の子どもたちの特徴として『元気がある』と感じる」について



②三重県における転出者数と転入者数の推移 及び

若者の転出超過数と県全体の転出超過数



・転出者の増加が転入者の増加を上回り、転出超過数は前年比で162人増加し、全体としても、この10年間で最多となった。

・一方、2年連続で減少していた転入者数が、H30年は増加に転じ、前年比で786人増加。

・平成20年(2008年)から転出超過の状態が続いている。

・特に進学や就職に伴う15~29歳の若者の転出超過数は、全体の約8割を占め、転出超過の大きな要因の一つとなっている。

③結婚に対する考え方(未婚の方)【みえ県民意識調査】

・未婚の方の結婚に対する考え方で「いずれ結婚するつもり」はH25以降減少。

・前回との比較において、年齢別では30歳代が(-12.7)、職業別ではパート・バイト・派遣が(-15.7)と最も大きくポイント減少した。

	□いずれ結婚するつもり	□結婚するつもりはない	□不明
H30	45.9	50.3	3.8
H29	58.1	38.5	3.3
H28	59.4	33.2	7.4
H27	66.2	30.9	2.8
H25	70.2	27.0	2.8

3 進学や就職に関する参考データ

4 県内産業等に関する参考データ

①三重県の高等学校卒業者の県外への就職状況

出典：文部科学省「学校基本調査」を基に三重県作成

	H26	H27	H28	H29	H30	
卒業生数(A)	15,798	15,988	15,952	16,212	15,695	
就職者数(B)	4,111	4,206	4,236	4,347	4,291	
(B)/(A)	26.0%	26.3%	26.6%	26.8%	27.3%	
県外への就職者数(C)	473	541	564	605	601	
(C)/(B)	11.5%	12.9%	13.3%	13.9%	14.1%	
就職先県	東京都	28	37	34	31	32
	愛知県	294	354	383	443	416
	大阪府	55	60	48	41	49
	その他道府県	96	90	99	90	104

※就職先県は、各年5月1日現在の就職先事業所の所在地ベース

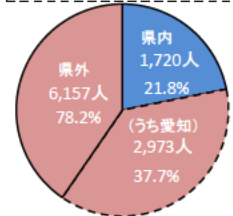
・県内の高等学校卒業者の愛知県への就職率も増加傾向である。県外への就職先のうち、愛知県が約69%を占め、大阪府約8.2%、東京都約5.3%となっている。

②三重県における大学への進学状況及び大学卒業生の就職状況

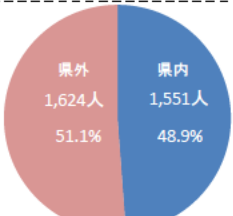
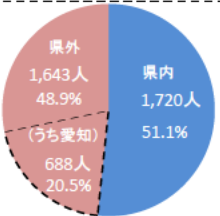
平成30年4月に大学に進学した県内高校卒業生のうち県内大学に進学した者の割合は21.8%(確定値)

平成30年4月に県内大学に進学した学生のうち県内高校出身者の割合は51.1%(確定値)

平成30年3月に県内高等教育機関を卒業した学生のうち県内企業に就職した学生の割合は48.9%

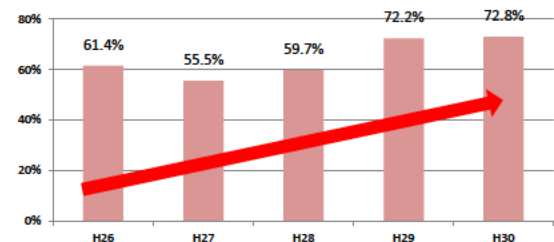


出典：文部科学省「平成30年度学校基本調査」



出典：三重県作成

③学生のインターシップ参加率(全国)



出典：2018年度マイナビ大学生インターシップ調査

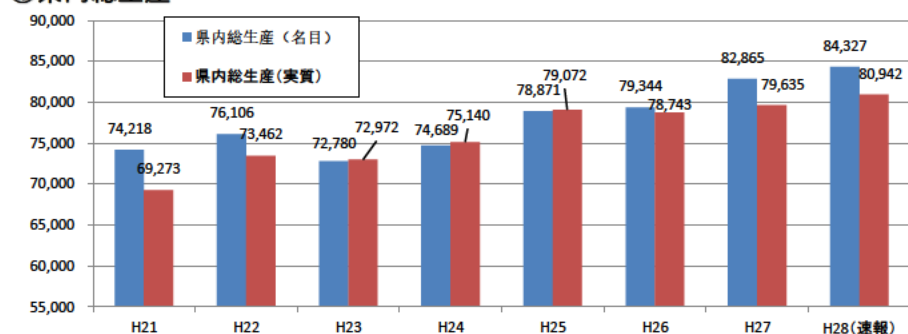
・学生のインターンシップ参加率は、全国的に増加傾向

・都市圏の大学と就職支援協定を締結し、U・Iターンの就職支援を強化(県内からの進学者が多い関西圏と愛知県を中心に現在18校と締結)

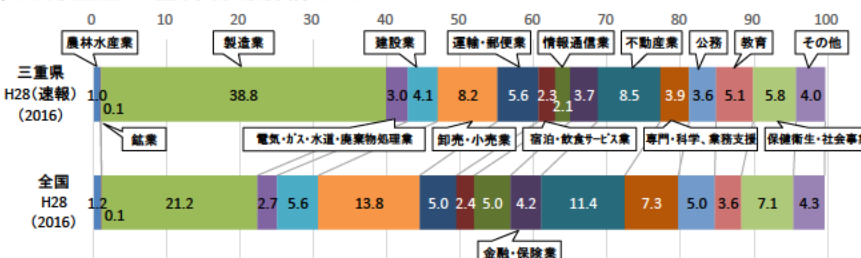
(参考) 就職支援協定の締結大学(18校)

- ・立命館大学(H28.2) ・近畿大学(H28.3) ・龍谷大学(H28.3) ・同志社大学(H28.8)
- ・関西大学(H28.8) ・愛知学院大学(H28.11) ・中部大学(H28.11) ・愛知大学(H29.2)
- ・愛知工業大学(H29.11) ・金城学院大学(H29.11) ・至学館大学(H30.2) ・京都女子大学(H30.3)
- ・関西学院大学(H30.11) ・名古屋学院大学(H30.12) ・京都産業大学(H31.2)
- ・立命館アジア太平洋大学(H31.2) ・京都橋大学(H31.2) ・専修大学(R1.7)

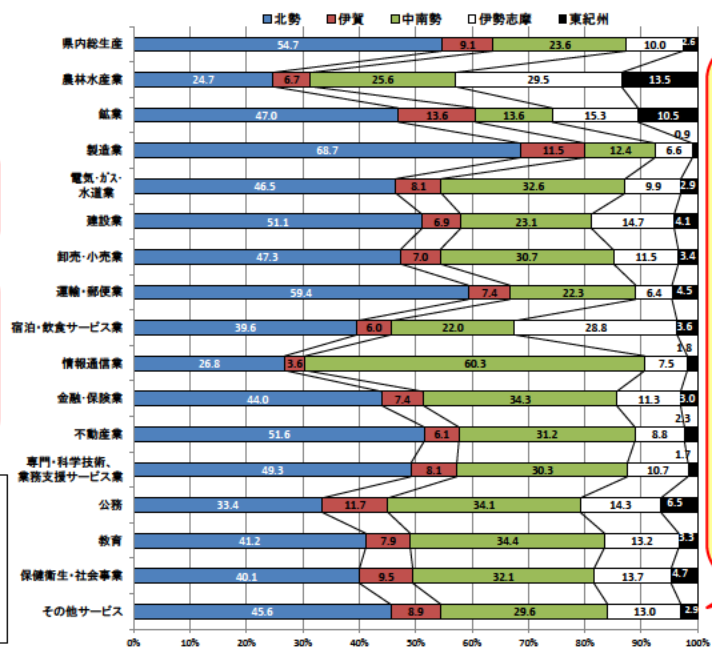
①県内総生産



②県内総生産の経済活動別構成比



③県内産業別・地域構成比



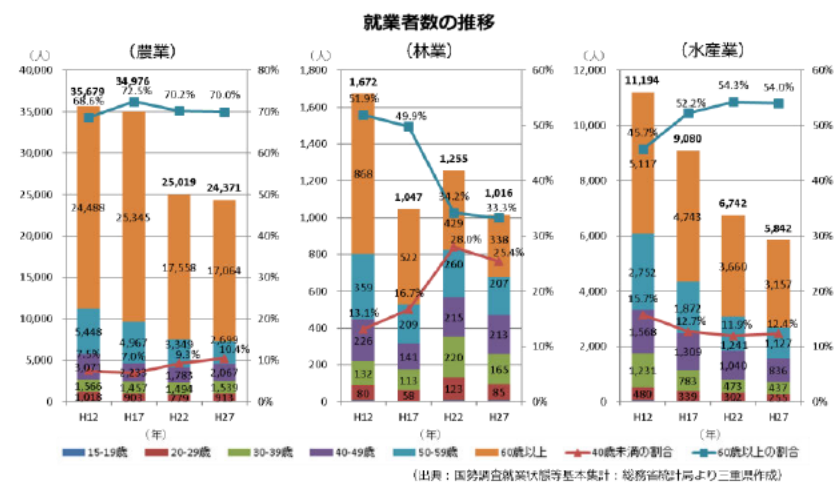
・県内総生産では、北勢地域が54.7%と最も多く、次いで中南勢地域の23.6%、伊勢志摩地域の10.0%、伊賀地域の9.1%、東紀州地域の2.6%の順となっている。

・県内総生産の構成比と比較すると、農林水産業は伊勢志摩・東紀州地域、製造業は北勢地域、宿泊・飲食サービス業は伊勢志摩地域、情報通信業及び保健衛生・社会事業は中南勢地域の割合が高くなっている。

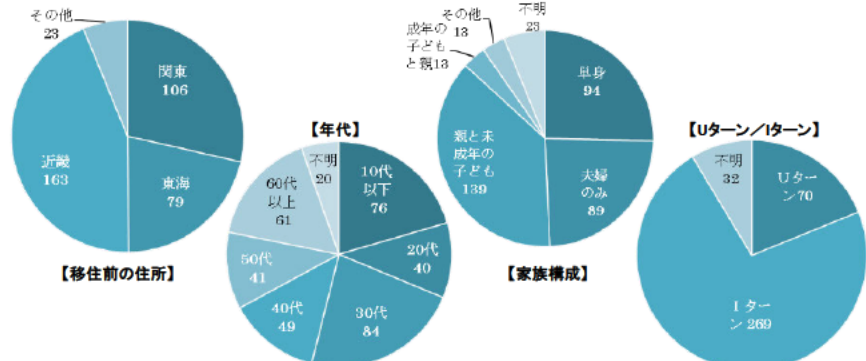
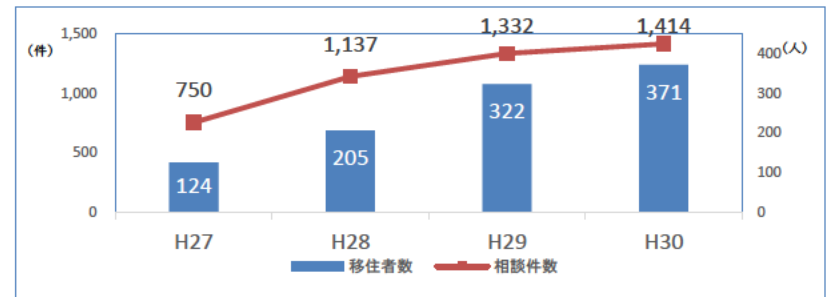
4 県内産業等に関する参考データ(続き)

5 移住、交流人口に関するデータ

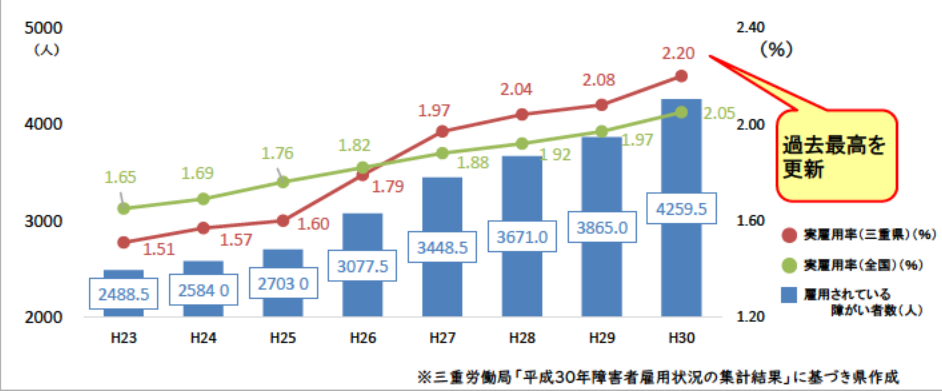
④ 農林水産業における就業者数の推移



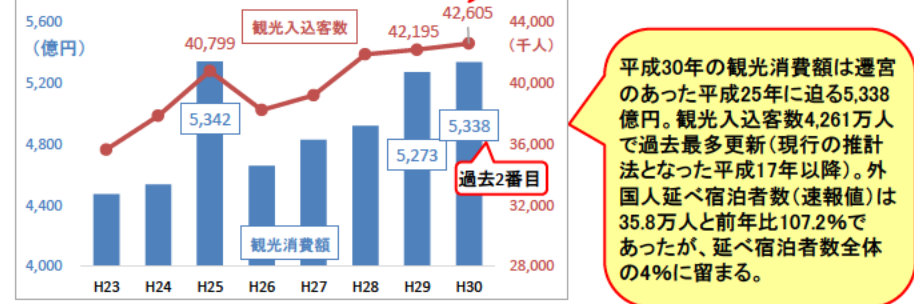
① 県および市町の施策を利用した県外からの移住者数



民間企業における障がい者雇用状況



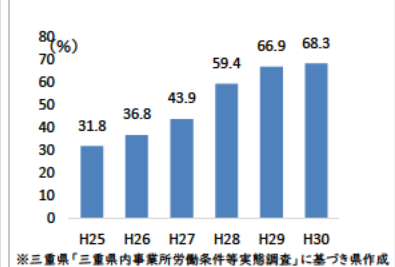
② 観光消費額と観光客入込客数



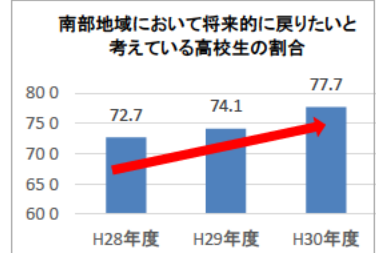
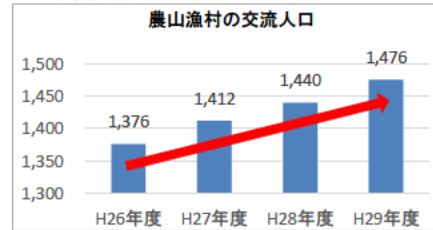
外国人労働者数、外国人雇用事業所数



WLBに取り組む県内中小企業の割合



③ 農山漁村の交流人口、南部地域において将来的に戻りたいと考えている高校生の割合

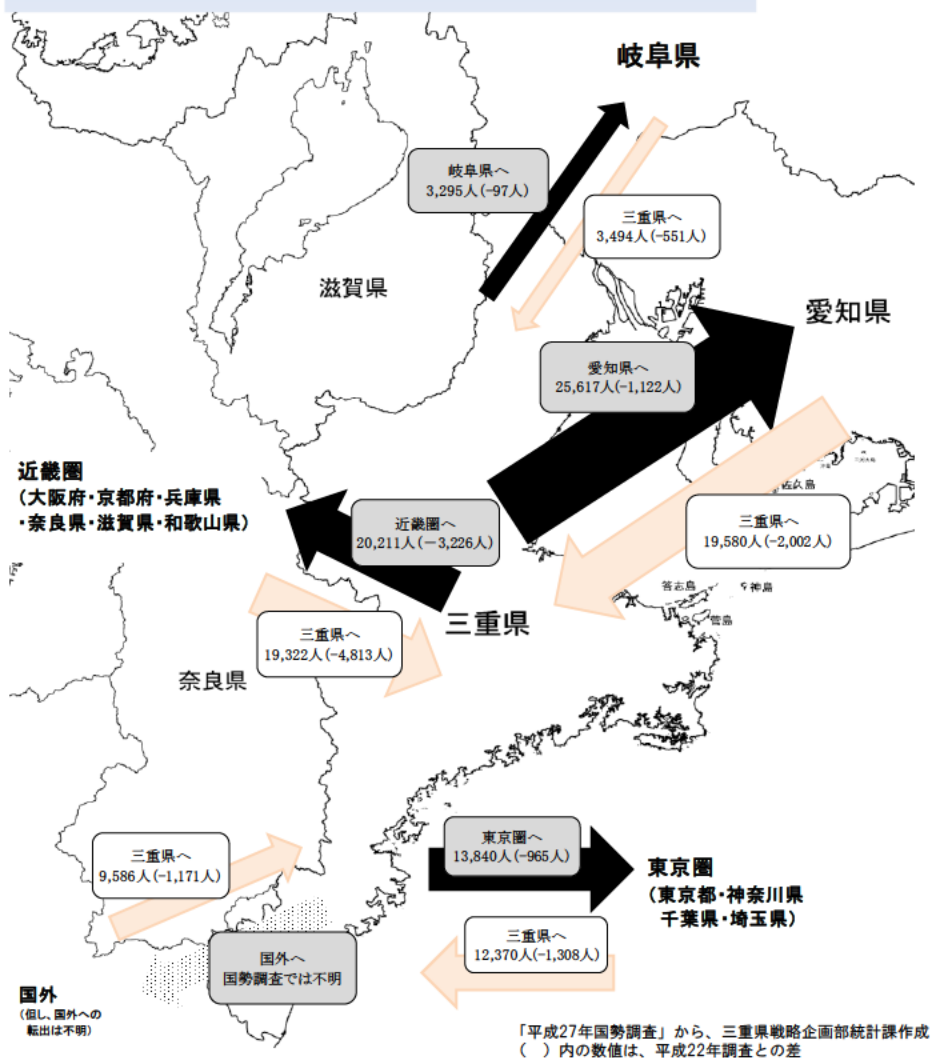


【参考】三重県における近隣県との人口移動及び通勤者の状況

三重県と近隣県、近畿圏、東京圏における転入者数、転出者数

平成27年国勢調査における「5年前の常住地調査」から人口移動の状況を見ると、転入者・転出者とも愛知県との間で最も多く、合計で6,037人の転出超過となっている。東京圏・近畿圏との間では、それぞれ1,470人、889人の転出超過となっている。

(単位:人)	愛知県	岐阜県	東京圏	近畿圏	国外
三重県へ(転入)	19,580	3,494	12,370	19,322	9,586
三重県から(転出)	25,617	3,295	13,840	20,211	-
転入-転出	△6,037	199	△1,470	△889	-



通勤者からみる県外との関係(通勤者数1,000人以上)

三重県内から近隣県県への通勤者数は、図内に示したとおり愛知県が最大となっている。

(単位:人)	愛知県	岐阜県	滋賀県	大阪府	奈良県	和歌山県	全体
三重県へ(流入)	14,373	3,603	1,600	1,731	4,066	1,268	31,066
三重県から(流出)	34,287	1,339	1,467	5,206	3,035	2,299	51,029
流入-流出	△19,914	2,264	133	△3,475	1,031	△1,031	△19,963

全体では、県外への通勤者(流出:51,029人)が、県内への通勤者(流入:31,066人)を19,963人上回っている。
平成22年調査時との比較では、流出0.8%増、流入16.0%増と、流入の伸び率が上回っており、流出超過(23,848人→19,963人)は、約4,000人の減。
特に大阪府、奈良県、和歌山県との関係では、流出が減少し、かつ流入が増加している。
愛知県との関係では、流出の増(271人)に比べ流入の大幅増(1,687人)となっている。

